

# 对策事例

---

## 対策事例一覧表(1/2)

| 概要   |                    |                      |                       | 設置の特徴                                     |      |   |
|------|--------------------|----------------------|-----------------------|---|------|---|
| No.  | 地方公共団体名            | 地区名                  |                       | 登録状況・整備計画策定状況                             | 設置内容 |   |
|      |                    |                      |                       |   | 箇所数  | 内訳  |
| 01   | 静岡県<br>静岡市         | 清水区<br>入江地区          | ゾーン30プラス<br>(鶴舞町地区)   | 歩行者の通行に配慮するため、隅切り部に平坦な路面を確保したハンプを設置       | 4箇所  | 交差点部ハンプ4箇所<br>(うちスムーズ横断歩道3箇所)                                     |
|      |                    |                      | ゾーン30プラス<br>(入江東地区)   |   | 2箇所  | 交差点部ハンプ1箇所<br>交差点部狭さく(両側)1箇所                                      |
| 02   | 愛媛県<br>松山市         | 東石井地区                | 生活道路対策エリア<br>ゾーン30プラス | 歩行者の通行に配慮するため、縁石を併用したハンプを設置               | 1箇所  | 単路部ハンプ1箇所   |
| 03   | 福岡県<br>久留米市        | 南地区                  | 生活道路対策エリア             | 歩行者の通行に配慮するため、道路端まで嵩上げたハンプを設置             | 2箇所  | 単路部ハンプ1箇所<br>交差点部ハンプ1箇所   |
| 03-1 |                    | 展開事例<br>上津町地区        | -                     | -   | 3箇所  | 単路部ハンプ2箇所<br>交差点部ハンプ1箇所   |
| 03-2 |                    | 展開事例<br>西町地区         | -                     | -   | 1箇所  | 交差点部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所  |
| 04   | 佐賀県<br>佐賀市         | 北川副地区                | 生活道路対策エリア             | 歩行者・自転車の通行に配慮するため、道路端や歩車道境界まで嵩上げたハンプを設置   | 2箇所  | 単路部ハンプ2箇所   |
| 04-1 |                    | 展開事例<br>西与賀町<br>厘外地区 | -                     | -   | 3箇所  | 単路部ハンプ3箇所   |
| 04-2 |                    | 展開事例<br>高木瀬町<br>寄人地区 | -                     | -   | 3箇所  | 単路部ハンプ3箇所   |
| 05   | 千葉県<br>船橋市         | 薬円台地区                | 生活道路対策エリア             | 傾斜部の色を工夫したハンプを3連続で設置                      | 3箇所  | 単路部ハンプ3箇所   |
| 06   | 大阪府<br>豊中市         | 桜井谷地区                | 生活道路対策エリア             | 反射ビーズにより夜間の視認性を工夫したハンプを設置                 | 1箇所  | 単路部ハンプ1箇所   |
| 07   | 沖縄県<br>浦添市         | 港川地区                 | 生活道路対策エリア             | アスファルト製と可搬型ゴム製を使い分け、道路のカーブに沿ってスムーズ横断歩道を設置 | 1箇所  | 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所   |
| 07-1 |                    | 展開事例<br>宮城小学校地区      | -                     | -   | 1箇所  | 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所   |
| 08   | 福岡県<br>糟屋郡<br>新宮町  | 緑ヶ浜地区                | 生活道路対策エリア             | 縦断勾配のあるY型交差点にハンプを設置                       | 3箇所  | 単路部ハンプ2箇所<br>交差点部ハンプ1箇所   |
| 09   | 青森県<br>三戸郡<br>田子町  | 田子地区                 | ゾーン30プラス              | 歩道を併せて整備することにより、歩行者の通行に配慮したスムーズ横断歩道を設置    | 1箇所  | 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所   |
| 10   | 新潟県<br>阿賀野市        | 緑町地区                 | 生活道路対策エリア             | 消雪パイプにより冬期の通行に配慮した狭さくを設置                  | 2箇所  | 単路部狭さく(片側)1箇所<br>単路部狭さく(両側)1箇所                                    |
| 11   | 大阪府<br>堺市          | 北区<br>新金岡町地区         | あんしん歩行エリア             | ラウンドアバウトとスムーズ横断歩道の組み合わせで速度を低減             | 3箇所  | 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)3箇所   |
| 12   | 神奈川県<br>横浜市        | 南区<br>大岡小学校周辺地区      | ゾーン30プラス              | 公園入口における子どもの飛び出し事故防止に向けてハンプを設置            | 5箇所  | 単路部ハンプ1箇所<br>交差点部ハンプ1箇所<br>単路部狭さく(両側)1箇所<br>交差点部狭さく(両側)2箇所        |
| 13   | 京都府<br>久世郡<br>久御山町 | 珠城地区                 | ゾーン30プラス              | 沿道出入りに配慮した狭さくを連続で設置                       | 3箇所  | 単路部狭さく(片側)2箇所<br>単路部狭さく(交互)1箇所                                    |
| 14   | 神奈川県<br>横浜市        | 港北区<br>大倉山三丁目地区      | 生活道路対策エリア             | 沿道出入りに配慮したハンプと狭さくを連続で設置                   | 4箇所  | 単路部ハンプ1箇所<br>単路部ハンプ(片側狭さく併用)1箇所<br>単路部狭さく(片側)1箇所<br>単路部狭さく(両側)1箇所 |
| 15   | 神奈川県<br>横浜市        | 緑区<br>中山町地区          | 生活道路対策エリア<br>ゾーン30プラス | 同一路線にハンプと狭さくを5連続で設置                       | 5箇所  | 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)2箇所<br>単路部ハンプ(両側狭さく併用)2箇所<br>単路部狭さく(片側)1箇所        |
| 16   | 愛知県<br>稲沢市         | 下津地区                 | -                     | 同一路線に狭さくを8連続で設置                           | 8箇所  | 単路部狭さく(両側)8箇所   |
| 17   | 埼玉県<br>朝霞市         | 東弁財地区                | 生活道路対策エリア             | 歩道の高さを嵩上げるなど、バリアフリーに配慮して、交差点部にハンプを8箇所設置   | 8箇所  | 交差点部ハンプ8箇所<br>(うちスムーズ横断歩道5箇所)                                     |
| 18   | 広島県<br>福山市         | 大津野地区                | 生活道路対策エリア             | 社会実験でハンプと狭さく、物理的対策と視覚的対策の効果を比較し、本設置       | 8箇所  | 単路部ハンプ1箇所<br>単路部狭さく(片側)4箇所<br>単路部狭さく(両側)3箇所                       |
| 19   | 愛知県<br>名古屋市        | 天白区<br>植田東地区         | 生活道路対策エリア             | 効果継続に向けたハンプの更新                            | 3箇所  | 単路部ハンプ1箇所<br>単路部狭さく(片側)1箇所<br>単路部狭さく(交互)1箇所                       |
| 20   | 山梨県<br>南巨摩郡<br>身延町 | 身延山門内地区              | -                     | 撮影スポットの景観を阻害しないスムーズ横断歩道を設置                | 1箇所  | 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1箇所   |

## 対策事例一覧表(2/2)

|   | 合意形成のポイント               |            |           |           |   |
|---|-------------------------|------------|-----------|-----------|---|
|   | 主な手法                    | 本設置前の主な取組み |           |           |   |
|   |                         | 社会実験の実施    | アンケート等の実施 | ビッグデータの活用 | その他   |
| 先行設置したハンプの効果を確認しながら追加設置                             | 協議会                     | ○          | ○         | ○         | ・記者発表を通して、仮設ハンプの効果を報告<br>・ニュースレターにより、効果や今後の方針を周知  |
| ビッグデータで問題意識を共有、ハンプ設置済地域のビデオ映像で理解促進                  | 住民説明会                   | -          | -         | ○         | ・社会実験のビデオを上映<br>・「試行」の位置づけて設置   |
| 協議会の現地調査で危険箇所を確認                                    | 協議会<br>住民説明会            | -          | -         | -         | ・ハンプの体験会を実施(走行実験、乗車体験、歩行体験)<br>・騒音、振動の問題は、既往の研究成果等を用いて説明  |
| -   | -                       | -          | -         | -         | -   |
| -   | -                       | -          | -         | -         | -   |
| 地域の小学生を交えて仮設ハンプの設置を体験                               | 協議会<br>住民説明会<br>ワークショップ | ○          | ○         | -         | ・社会実験初日に地域の小学生を交えた仮設ハンプの設置体験会を実施<br>・社会実験の結果は、狙った効果の他、悪影響の有無も合わせて、地域住民に回覧                                   |
| -   | -                       | -          | -         | -         | -   |
| -   | -                       | -          | -         | -         | -   |
| 有識者を交えた道路安全診断を活用し、スムーズに検討                           | 協議会<br>(道路安全診断)         | -          | -         | -         | ・住民から要望のあった箇所に対策を実施<br>・有識者や警察、行政、技術者を交えて対策を検討  |
| 設置前後に啓発活動を実施  | -                       | -          | ○         | -         | ・沿道住民と自治会へ個別に計画を説明<br>・ハンプ設置の1か月前から看板「凸型舗装」で周知  |
| ノウハウを有する機関と連携し進め方を的確に選択                             | ワークショップ                 | ○          | ○         | ○         | ・通学路交通安全プログラムと連携し、対策を検討<br>・ノウハウを有する機関と協力   |
| -   | -                       | -          | -         | -         | -   |
| 近接箇所における社会実験で効果を確認                                  | 協議会                     | ○          | ○         | ○         | ・複数箇所にハンプを設置して速度を抑制してほしいという住民からの要望があり、それに対応する形で設置箇所を含めた計画を立案<br>・ETC2.0プローブ情報を活用することで、客観的データとして対策が必要な箇所を提示  |
| 高齢化が進む中、多くの地域関係者が一体となって合意形成                         | 協議会                     | -          | ○         | -         | ・既存の協議会を活用し、迅速に合意形成<br>・各自自治会長に説明後、自治会長から地区会長を通して住民へ説明  |
| 現地で狭さく具体的な位置や形状を住民と共有                               | 協議会<br>住民説明会            | -          | -         | ○         | ・住民を含めた現地立会において、狭さく設置位置をテイクで示し、具体的な形状をイメージ  |
| 住民からの要望をきっかけとした安全対策で効果が実感され、追加設置                    | 協議会                     | -          | -         | -         | ・住民の中のハンプ等に詳しい方の協力<br>・警察と協力し、スムーズ横断歩道の設置の必要性を説明  |
| 現地でハンプや狭さく具体的な位置や形状を住民と共有するとともに、ビッグデータを活用して課題や効果を提示 | 協議会                     | -          | -         | ○         | ・協議会ニュースの配布<br>・現地立会で沿道住民にデバイスの設置位置や形状を事前に説明<br>・ETC2.0プローブ情報の分析結果を提示し、課題や効果をわかりやすく説明                       |
| 街頭啓発活動を通して、交通安全対策への方向性が一致                           | 協議会                     | -          | -         | ○         | ・日頃から宇治警察署、住民、学校関係者、久御山町による通行車両に向けたゾーン30の街頭啓発活動の実施  |
| 現地撮影動画で課題を共有、ハンプ体験会で懸念を解消                           | 協議会                     | ○          | ○         | ○         | ・現地を撮影した動画やETC2.0プローブ情報により、地区の課題を共有<br>・住民に対策メニューを紹介<br>・社会実験前にハンプ体験会の実施                                    |
| 「協議会ニュース」と説明会の併用で、情報を確実に伝達・社会実験の結果により、対策を見直した上で本設置  | 協議会                     | ○          | ○         | ○         | ・協議会の設立以前から事前説明等を実施し、住民の意見を集約<br>・協議会ニュースの配布前に自治会で説明<br>・施設周辺の住民へ個別に説明                                      |
| 短いサイクルでの振り返りと追加対策                                   | ワークショップ                 | -          | -         | -         | ・意見をマップに整理することで、課題を見える化<br>・住民が考える必要な対策について、市とワークショップで議論し、計画を相互に理解<br>・有識者からの意見により、住民の対策意識が形成               |
| 住民主体のワークショップを重ねて合意形成                                | ワークショップ                 | -          | -         | ○         | ・ワークショップで参加者にヒヤリハットを地図上にシールで貼付けてもらい、ETC2.0プローブ情報との重ね合わせを実施<br>・有識者の参加によって、取組みへの信頼性の向上や疑問の早期解決               |
| 社会実験を2パターン実施  | 協議会<br>ワークショップ<br>住民説明会 | ○          | ○         | ○         | ・協議会でETC2.0プローブ情報の分析結果やビデオの観測記録を提示し、地区の課題を共有<br>・ワークショップで具体的な対策案の検討<br>・メディアに発信しながら社会実験を2回実施し、結果を比較         |
| まちづくり活動の中で住民主導により推進                                 | 協議会                     | ○          | ○         | -         | ・学習会により、住民がわかりやすく課題を認識<br>・有識者や行政アドバイザーが参画<br>・対策は住民主導で検討   |
| 地域の活性化に向け検討会・ワークショップで合意形成                           | 協議会<br>ワークショップ          | ○          | ○         | ○         | ・ETC2.0プローブ情報により、通過交通の割合、危険箇所を把握し、共有<br>・社会実験後にアンケート調査を実施し、継続の要望が多い対策を把握<br>・AIカメラでの映像解析により、低速で通過する車両の増加を確認 |